

令和2年度(平成元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-002

PDCA	事務事業名	土木管理事務	部課等名	建設部 土木課 維持管理担当	担当	内田		
					内線等	437		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第2節 都市基盤の整備						
		基本施策： 3. 交通体系						
		単位施策： (2) 生活道路の整備						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	市の道路・水路の適切な管理 路上放置車両等の撤廃						
	目的を達成するための手段・活動内容	道路パトロールにより問題・危険箇所の早期発見に努めるとともに、住民からの要望・通報等を適切に処理し、道路・水路を管理する。 路上の放置車両等を、規定による諸手続きにより撤去処理する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位	
		①道路パトロール		146	208	204	回	
		②道水路に関する承認工事申請件数		82	103	98	件	
		③路上放置車両等発見件数		1	1	0	件	
		事業費		14,609	10,826	14,055	千円	
		人件費		24,878	24,779	30,301	千円	
		総事業費		39,487	35,605	44,356	千円	
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位	
	①放置自動車1台処理するのにかかるコスト		31.7	31.2	31.1	千円		
	②							
	③							
	成 果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位	
		①道路管理瑕疵事故の発生件数	実績値	1	2	2	件	
			目標値	0	0	0		
②		実績値						
		目標値						
③		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある		
	事業の 評価・課題	C						
		道路管理瑕疵の発生を防ぐため、月ごとに重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険箇所や不具合の早期発見に努めた。 道路管理瑕疵ゼロの目標は達成できなかったが、平成18～27年度の発生件数が平均4.7件であったのに対し、近年は、平成28年度2件、平成29年度1件、平成30年度2件、令和元年度2件にとどまり、対策の効果は表れている。今後も必要に応じて対策のポイントや手法について見直しを行っていくことが重要である。 また、すぐやる隊により、道水路の危険箇所の応急処置や草刈りを始めとする住民要望への対応の迅速化を図ることができた。						
		改善推進						
		管理瑕疵事故の要因となる可能性の高い未承認で行われる不適格な道路施設の工事を防止するため、市報等による周知や、建築・農地転用時等の機会に適切な指導を行っている。 また、引き続き、道路管理瑕疵の未然防止および道水路の適切な管理のため、道路パトロールを徹底すると共に、危険箇所や住民要望への対応の迅速化を図る。						
		令和2年度の 目標	成果指標		目標値	単位		
			①道路管理瑕疵事故の発生件数		0	件		
A 課題解決のための目標	今後の事業の 方向性							
	令和2年度の 目標							